

Quality
Leading
Company

2013年度決算説明会

2014年5月14日

株式会社ビー・エム・エル



2013年度業績概要

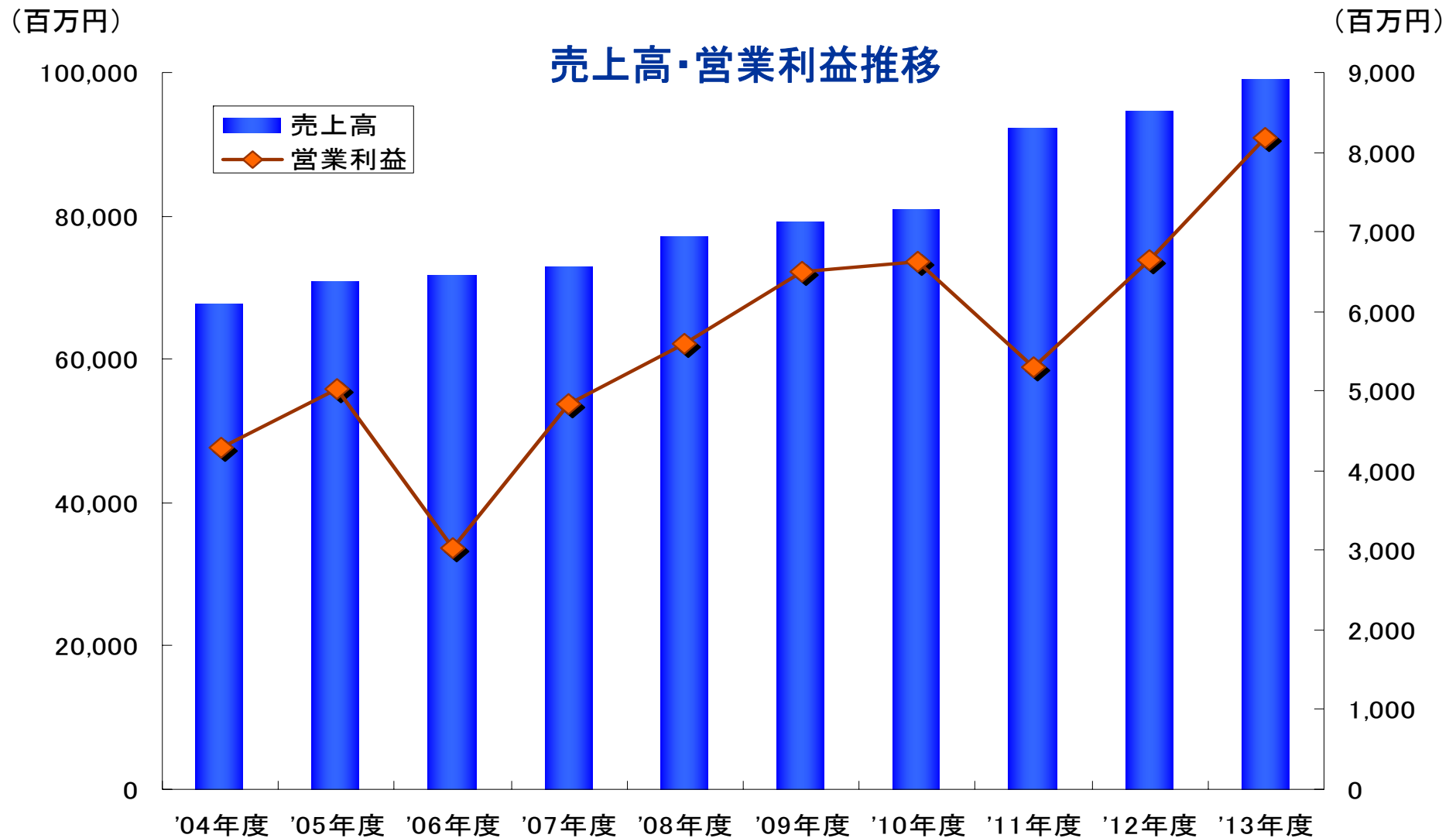
増収増益・修正計画達成

(百万円)

	2012年度	2013年度		修正計画		
		前期比	増減率		計画比	
売上高	94,608	99,047	4,439	4.7%	98,500	547
検査事業	91,151	94,869	3,718	4.1%	-	-
臨床検査事業	87,487	91,162	3,675	4.2%	-	-
その他検査事業	3,664	3,707	43	1.2%	-	-
医療情報システム事業	3,206	4,000	794	24.8%	-	-
その他事業	250	176	-74	-29.4%	-	-
営業利益	6,637	8,188	1,551	23.4%	8,000	188
経常利益	6,979	8,582	1,603	23.0%	8,400	182
当期純利益	3,708	4,990	1,282	34.6%	4,800	190

2013年度業績概要

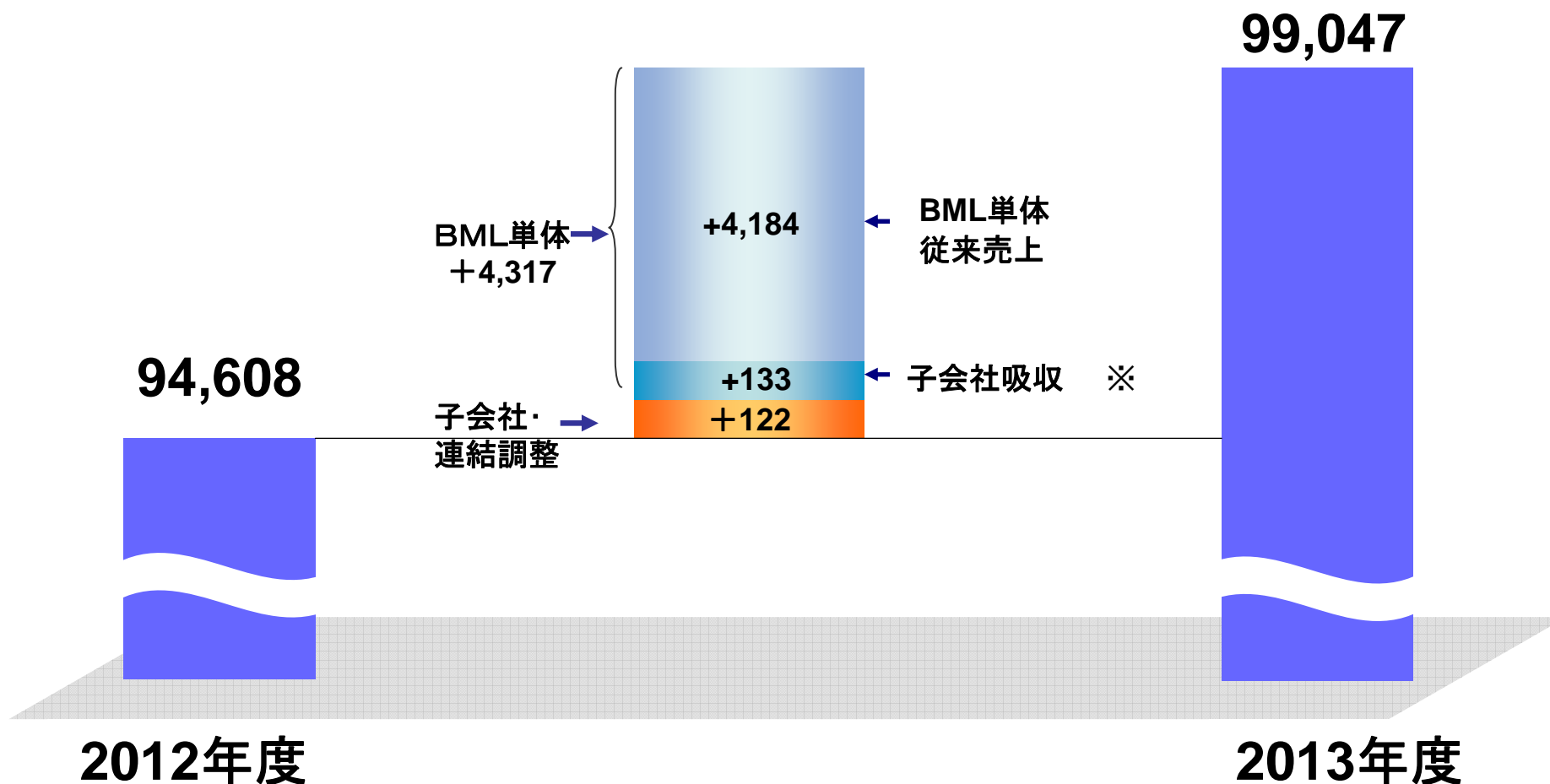
売上高・営業利益ともに過去最高を更新



2013年度業績概要

(百万円)

売上高 990億47百万円
前期比 44億39百万円 (4.7%) 増収



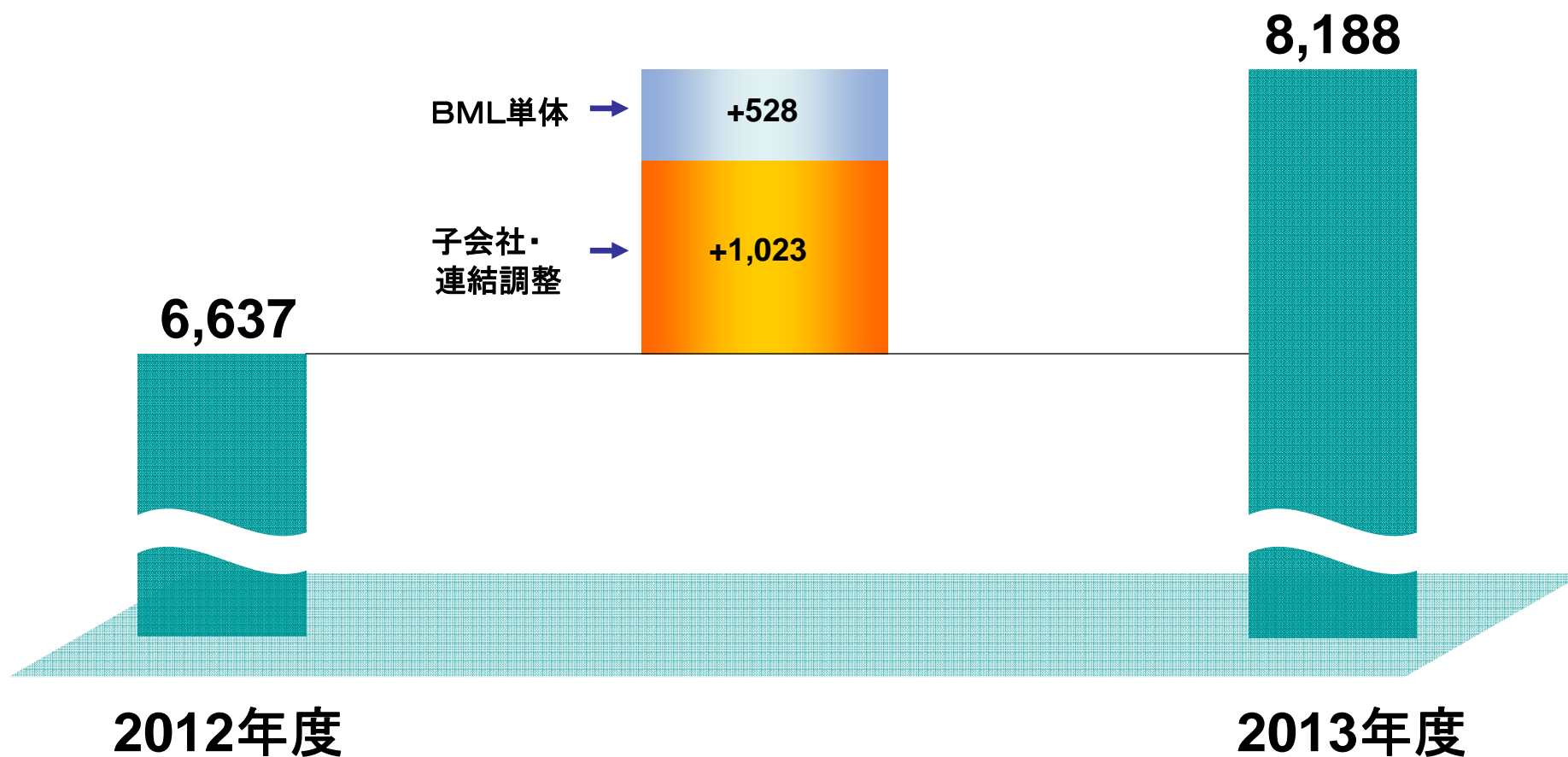
※' 12年7月に100%子会社(株)ロボテック・(株)BML福島をBMLへ吸収合併

2013年度業績概要

営業利益 81億88百万円

(百万円)

前期比 15億51百万円 (23.4%) 増益



臨床検査事業の概要

売上高911億62百万円

前期比 36億75百万円（4.2%）増収

- 新規開拓が順調に推移
- 価格下落は前期に比べ小幅に推移
- 重点検査項目の営業推進が売上に貢献
- 治験分野では国際治験の受託が順調に推移

臨床検査事業の概要

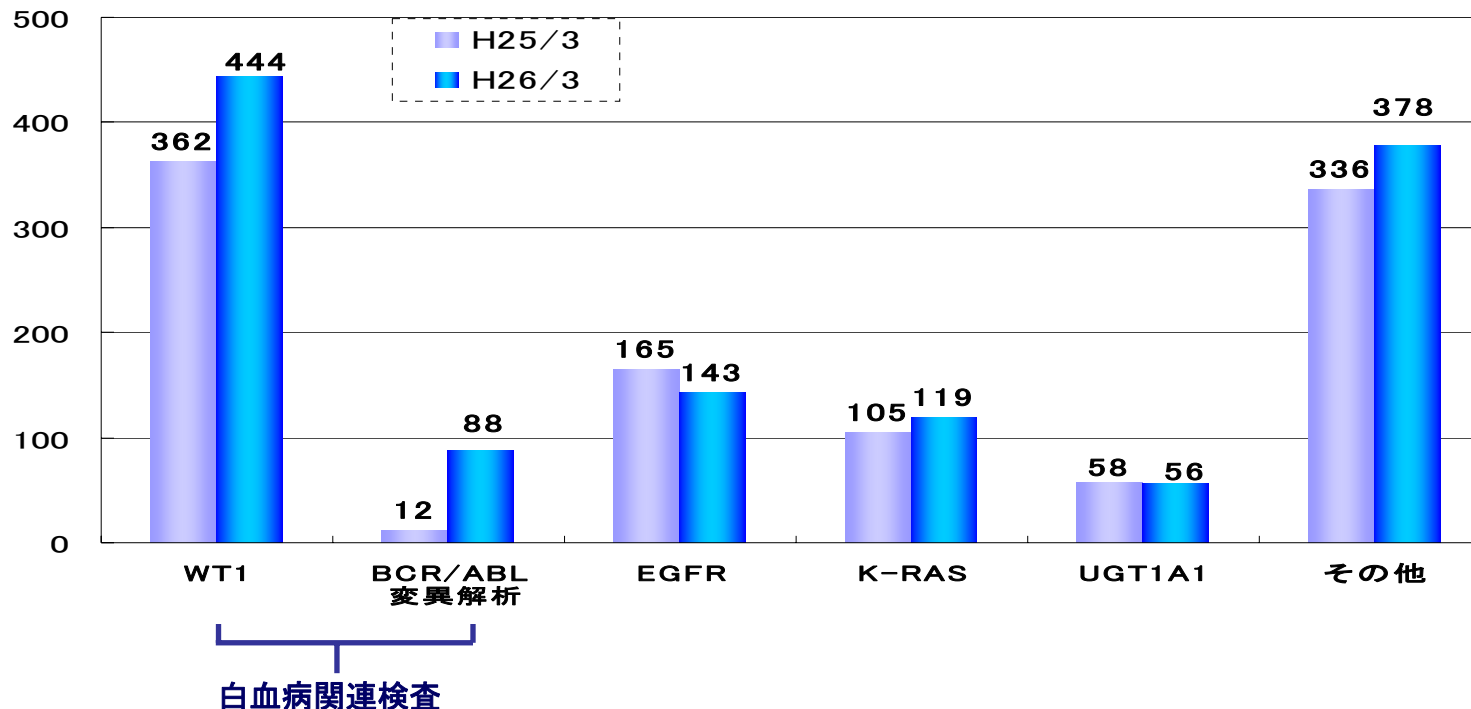
▶グループ会社の状況

- ◇ 北海道:(株)第一岸本臨床検査センターの収益改善
・ラボ・営業・集配拠点の統合 等
- ◇ 九州:(株)QOLセントラルラボラトリーズの受託拡大
・実施項目の拡大により、地場センターおよびグループ会社からの受託数が増加

研究開発活動の概要

▶ オーダーメイド医療への取り組み

(百万円)



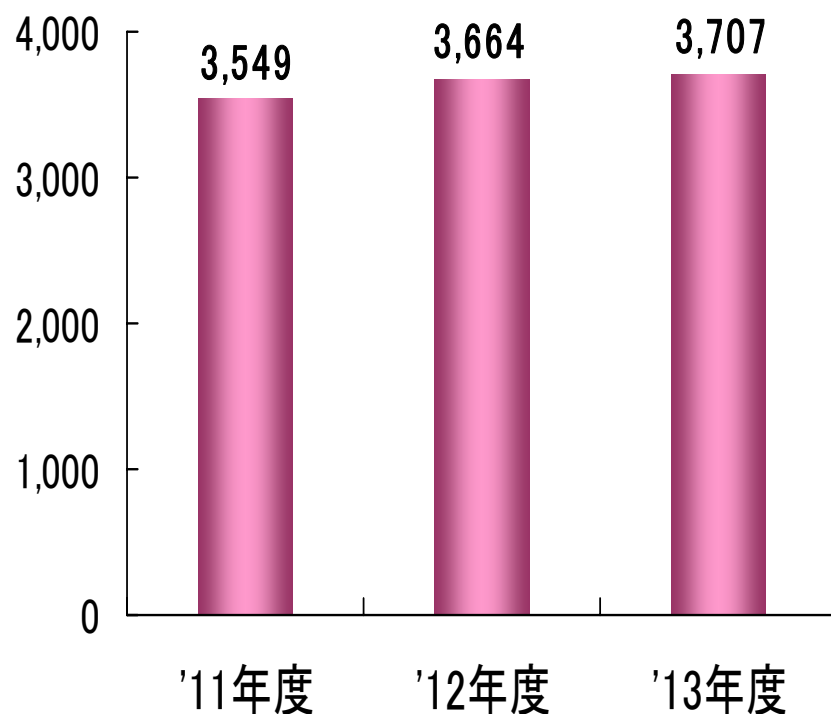
◇ 開発状況

	治療経過モニタリング*	治療効果予測	副作用予測
既存	WT1、BCR/ABL IS、イマチニブ*	EGFR、ALK、K-RAS、BCR/ABL変異解析、FLT3、JAK2	UGT1A1
新規	ニロチニブ血中濃度測定	BCR/ABL変異解析Ver.2 TTR遺伝子変異解析	

その他検査事業(食品衛生)の概要

売上高 37億7百万円
前期比 43百万円 (1.2%) 増収

(百万円) 食品衛生の売上推移



➤(株)BMLフード・サイエンス

- ◇前期放射能検査関連売上の特需あり
- ◇食品衛生コンサルティングの新規受注が増加
- ◇腸内細菌検査、ノロウイルスの拡販が堅調
- ◇食品成分分析の受注が順調に推移
- ◇名古屋事業所における市場拡大

医療情報システム事業（電子カルテ）の概要

売上高 40億円

前期比 7億94百万円（24.8%）増収



➤クオリス(Qualis)

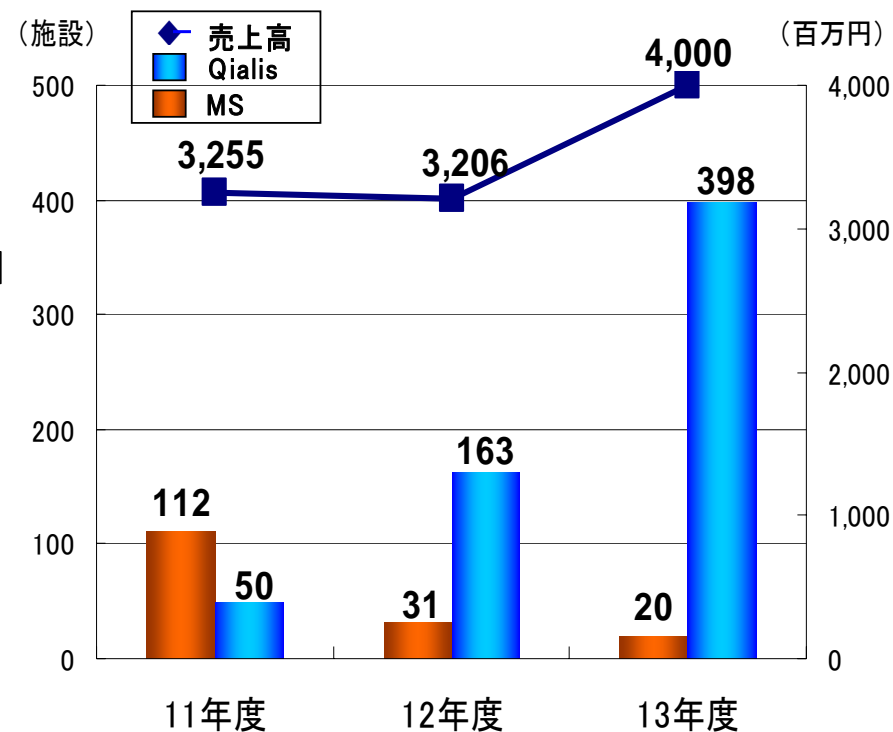
- ◇操作性・機能・価格で好評価
- ◇消費税駆込み需要が第4Qで大幅に増加



➤メディカルステーション(MS)

- ◇販売対象先を高機能または多台数を求めるユーザーに設定
- ◇リプレイスの需要が増加

売上高・設置施設数の推移

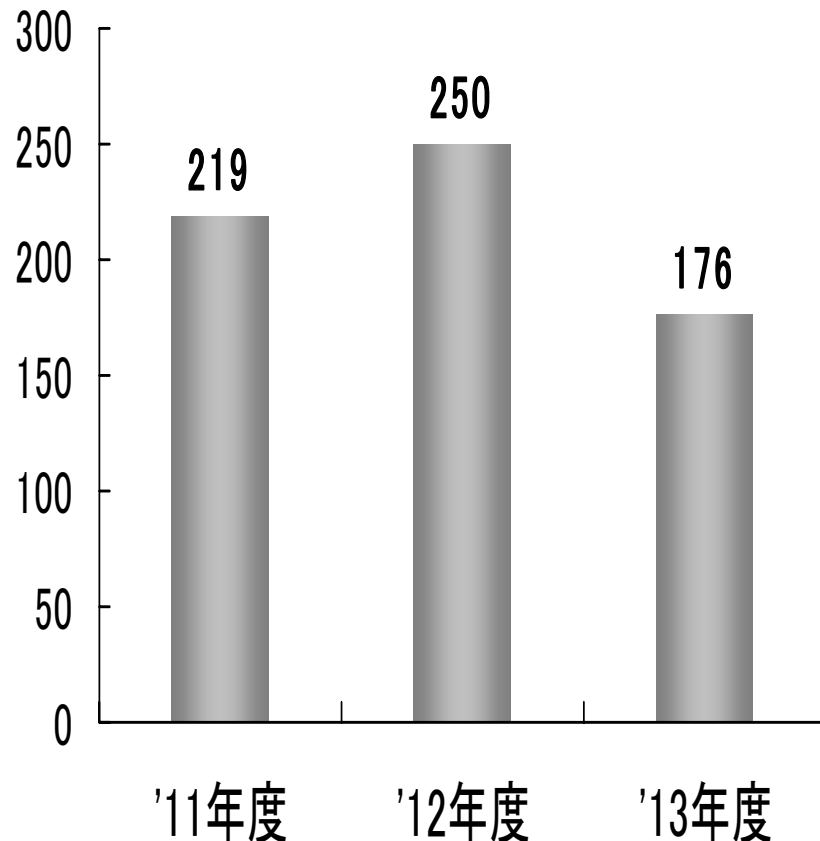


その他事業(SMO)の概要

売上高 1億76百万円
74百万円 (29.4%) 減収

(百万円)

SMOの売上推移



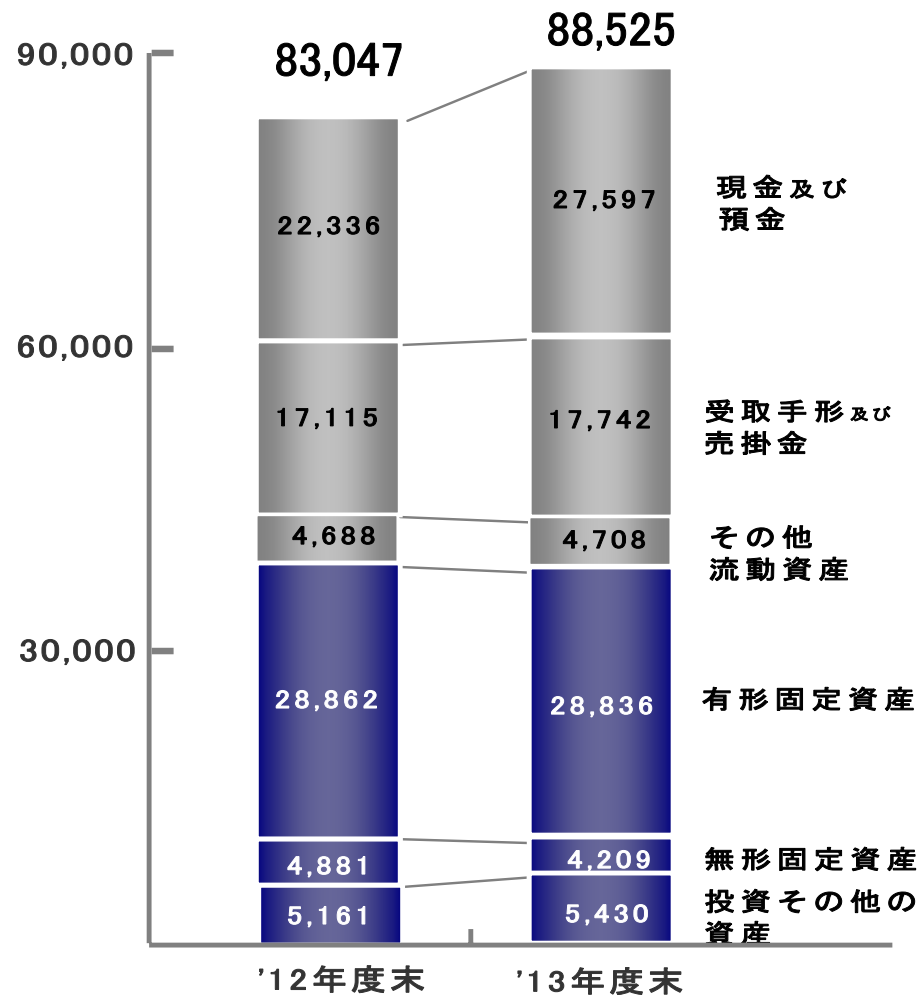
➤ (株)アレグロ

- ◇ 治験市場は引き続き厳しい環境が継続
- ◇ 収益性を重視した取り組み推進

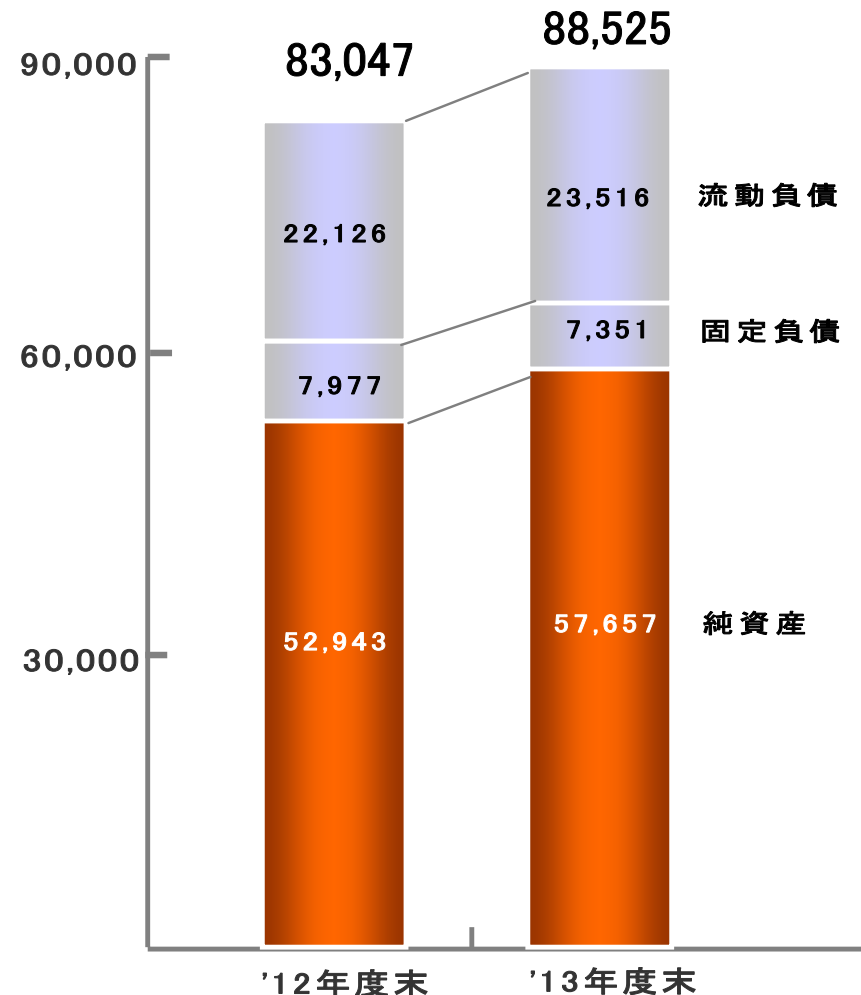
連結貸借対照表の概要

(百万円)

資産の部

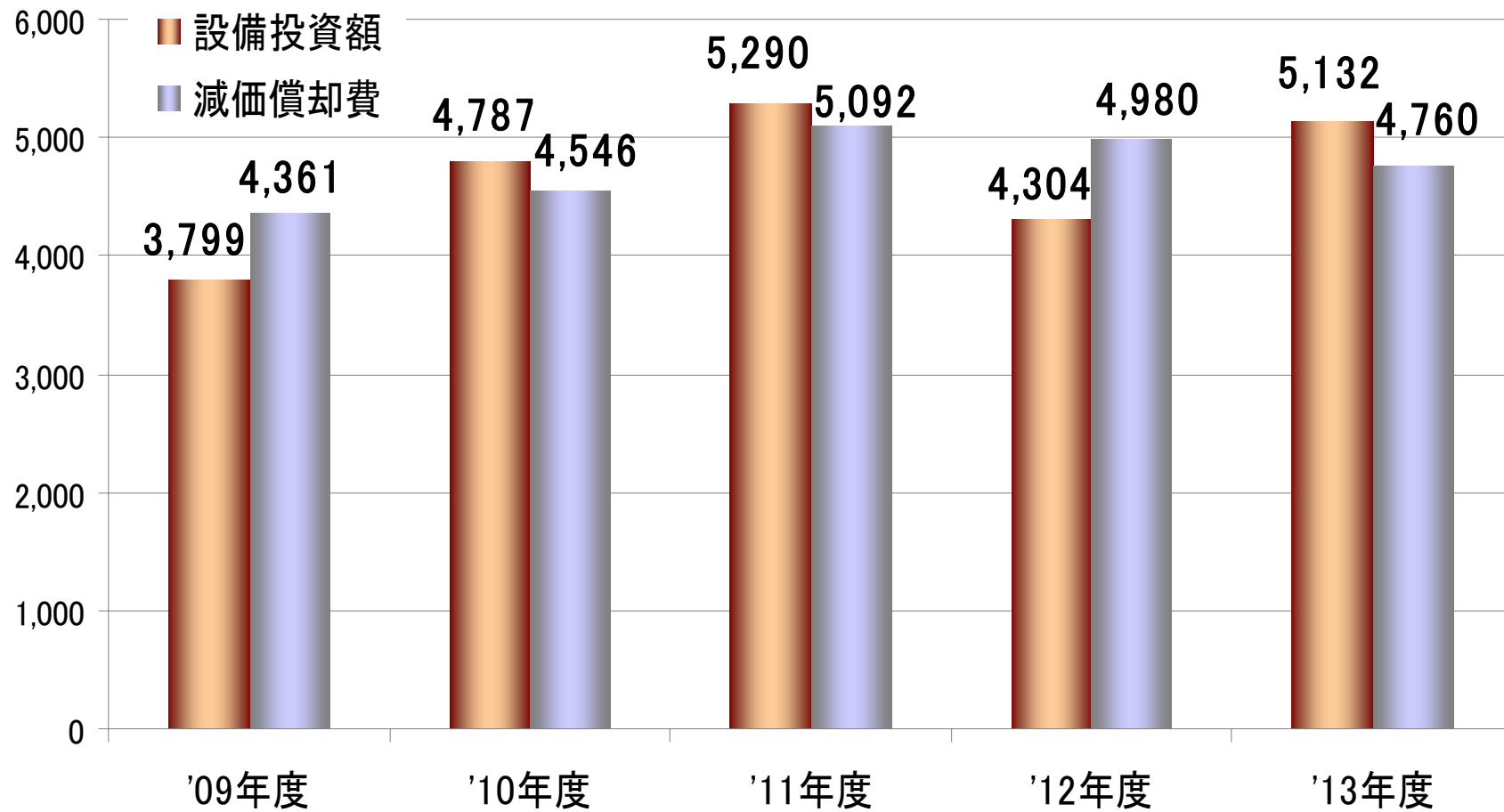


負債・純資産の部



設備投資/減価償却の概要

(百万円)



キャッシュフローの概要

(百万円)

	'12年度	'13年度	増減
営業活動によるキャッシュフロー	9,792	10,931	1,139
税金等調整前当期純利益	6,963	8,568	1,605
減価償却費	5,005	4,813	-192
のれん償却額	725	677	-48
その他	-2,903	-3,126	-223
投資活動によるキャッシュフロー	-6,974	-1,762	5,212
定期預金の預入による支出	-4,359	-2,922	1,437
定期預金の払戻による収入	871	4,207	3,336
有形固定資産の取得による支出	-2,215	-2,225	-10
無形固定資産の取得による支出	-1,069	-894	175
その他	-200	74	274
財務活動によるキャッシュフロー	-2,370	-2,622	-252
配当金の支払額	-849	-849	0
リース債務の返済による支出	-1,150	-1,359	-209
長期借入金の返済による支出	-334	-361	-27
その他	-35	-51	-16
現金及び現金同等物の期首残高	17,590	18,102	512
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	-	-53
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10	-	-10
現金及び現金同等物の期末残高	18,102	24,649	6,547

2014年度の戦略

検査事業

■ 臨床検査事業

▶ クリニック新規獲得による市場拡大

◇ 新規開業情報の取得強化

▶ 首都圏のラボ再編

◇ 都心のラボ拠点整備

▶ 重点検査項目の拡販

◇ ピロリ菌関連・アレルギー検査、結核菌関連 等

2014年度の戦略

検査事業

■ その他検査事業（食品衛生）：(株)BMLフード・サイエンス

➤ 新検査センター開設（本年5月、埼玉県川越市）

◇ 検査領域・検査数量拡大への対応

◇ 点在している検査所の集約

◇ 効率的な検査体制の実現



（BML総合研究所すぐそば）

➤ 厚生労働省「登録検査機関」の資格を取得

2014年度の戦略

医療情報システム事業

▶クオリスの拡販推進

- ◇新規開業情報の確実な取得
- ◇販売チャネルの強化
- ◇新機能の開発

▶サポート体制の強化

- ◇(株)メリッツサポートシステムズと当社のサポート人員統合

海外の取り組み

▶ 上海における合併事業を本格稼働

◇ 上海千麦博米楽医学検査所有限公司

・ 同社ミンハンラボ : 本年4月許可取得、同5月稼働



ラボのフロア(受付部分)

2014年度通期の見通し

(百万円)

	2013年度	2014年度通期予想		
		前期比	増減率	
売上高	99,047	101,000	1,953	2.0%
検査事業	94,869	96,780	1,911	2.0%
臨床検査事業	91,162	92,990	1,828	2.0%
その他検査事業	3,707	3,790	83	2.2%
医療情報システム事業	4,000	4,020	20	0.5%
その他事業	176	200	24	13.6%
営業利益	8,188	8,200	12	0.1%
経常利益	8,582	8,500	-82	-1.0%
当期純利益	4,990	4,900	-90	-1.8%

(連結ベース)

当資料取り扱い上の注意点

＜将来に関する記述等についてのご注意＞

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。

また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。